

科 目	保健体育（保健）	学年・類型	2年 普通科	単位数	1
教 科 書		現代高等保健体育（大修館書店）			
副教材等					
学 習 目 標	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、健康の考え方、生活行動について学びます。 ・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てていきます。				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたり健康で安全な生活を送ることができるように、健康や安全についての理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにしている。	生涯にわたり健康で安全な生活を送ることができるように、知識を得て課題を見つけ、学習活動を通して総合的に考え、判断し、実践していく力を身に付けている。	健康な生活を送るために、自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、自分自身の健康を適切に管理し、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指そうとしている。		
評 価 方 法	各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び5段階評定で評価します。観点別評価はA・B・Cの3段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テストなど、「思考・判断・表現」は授業中の発問発表内容、定期考査、レポート、プリントや課題の内容・提出状況など、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などを基に評価します。				
	単 元		主 な 学 習 活 動		
一 学 期	第2単元 現代社会と健康 04応急手当の意義とその基本 05日常的な応急手当 06心肺蘇生法 第3単元 01ライフステージと健康 02思春期と健康 03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康 05避妊法と人工妊娠中絶		・日常生活の中で起きる傷害や熱中症について基本的な応急手当の方法を理解します。 ・心肺蘇生法の意義や原理について資料を集めたり意見交換したりしながら理解するとともに、心肺蘇生法の方法と手順について理解します。 ・思春期における心身の発達や健康問題について行動面・心理面の変化を理解し、性に関する情報に対して、適切な意思決定や行動選択が必要であることを理解します。		
二 学 期	06結婚生活と健康 07中年期と健康 08働くことと健康 09労働災害と健康 10健康的な職業生活 第4単元 01大気汚染と健康 02水質汚濁、土壌汚染と健康 03環境と健康にかかわる対策 04ごみの処理と上下水道の整備 課題学習		・結婚生活について、保健の立場から理解します。 ・加齢に伴う心身の変化や、健やかに老いるための留意点について理解します。 ・作業形態や環境の変化に伴い、職業病や労働災害の質や量が変化してきたことを理解します。 ・職場での安全管理と健康管理の必要性を理解します。 ・心身両面にわたる総合的・積極的な対策により労働者の健康の保持増進が図られることを理解します。 ・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染が健康被害をもたらすことを理解します。 ・環境汚染の発生防止や改善の対策の必要性を理解します。 ・上下水道の整備・ゴミやし尿処理の環境衛生活動の必要性と問題点や対策について理解します。 ・今まで学習した単元の中からテーマを選んで調べ学習を行い、レポート提出や発表を行います。		
三 学 期	05食品の安全性 06食品衛生にかかわる活動 07保健サービスとその活用 08医療サービスとその活用 09医療品の制度とその活用 10さまざまな保健活動や社会対策 課題学習		・HACCP方式などで、食品の安全性が確保されていることを理解します。 ・生産・流通・消費・廃棄の各段階での安全性の確保のために、行政・生産者・消費者などがそれぞれの役割を果たす重要性を理解します。 ・積極的な余暇の活用について理解します。 ・2年間の保健学習を通して、興味を持った内容が同じ者同士で発見した解決策を図り発表できるよう学びます。		